



# The Y's Men's Club of OSAKA-KAWACHI

Chartered Sep.29. 1975

“To Acknowledge The Duty That Accompanies Every Right”

2012年2月報

Vol. 436 2月1日発行

<b>主 題</b>	2011 - 2012 年度 クラブ・部・区・アジア地域・国際	
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田憲子
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む To walk together, echoing each other	部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)
	“Contribute to the Community through Active Services with Love”	
々 副 題	理想を目指して変革と行動	
	“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”	
アジア地域主題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」	
スローガン	“Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」	
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)	
	“Audere est Facere To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」	

## キラキラジン 吉里吉里人に魅かれて

岩坂正雄



昨年11月、東Y鈴木所長の引率でリーダー11名が、南三陸町の被災地で「たこバ」(たこ焼きパーティ)を開いた。孤立感に沈んでいる被災者たちの交わりの場になって盛り上がり、ある女性は「こんなに笑ったのは仮設に入って初めてだわ」と言って下さったとのこと、

1月号のプリテンに詳しく報告されている。この活動のために河内クラブでは、支援プロジェクトの一環として、特にメネットさんたちの働きと支えが大きかった。今年元旦の朝日新聞で、哲学者の梅原猛さんが鋭い文明批評の発言をされていた。大地震や大津波は天災であり、原発の大事故は文明災、そして政策の間違ひは人災である。私たち現代人が悟るべきことは、飽くなき消費欲と利便性から解放されることであると説いておられる。かつて、クリスマス作家の井上ひさしが世に出した大書「吉里吉里人」(昭56・新潮社)そこに描かれているのは、素朴だが自立の精神に富んだ東北の山村に住まう人々が、利便性と物質的豊かさに毒された都会的消費社会の日本国からの独立を宣言して、自給自足の生活をめざす吉里吉里国を建てるといふおはなし。そのようなユートピアの人びと吉里吉里人の姿に魅かれる。このユートピアはいま、NPO法人「吉里吉里国」として現実に東北に存在し、避難地のお風呂の燃料に「復活の森」で育てた間伐材を「復活の薪」として提供しているそうだ。心打たれるおはなしではないか。

[今月の聖句] モテへの手紙6章7節~8節  
「わたしたちは、何も持たずに世に生まれ、世を去るときは何も持って行くことができません。食べる物と着る物があれば、わたしたちはそれで満足すべきです。」  
慾に走らず、持っているものを分かち合う心を大切にすることがTOFの精神です



## 【2月例会プログラムご案内】

日時：2月16日(木) 18:30~20:30  
会場：サンホーム 6階  
強調月間 “TOF CS EF”  
司 会：尾北昇さん  
開会点鐘：会長・横田憲子さん  
ワイズソング：— 同  
聖句朗読：新本英二君  
ゲスト・ビジターご紹介 司会者  
会長の時間：会長・横田憲子さん  
食前感謝：新本英二君  
インフォメーション：当該者  
東日本大震災被災者支援プログラムを応援  
大阪東YMCAユースボランティア活動報告  
・「南三陸町志津川でのたこバ活動」  
東Yユースリーダーのみなさん  
・意見交換  
誕生日のお祝い  
ニコニコ・アワー 藤井敬子&メネット  
YMCAの歌：— 同  
閉会点鐘 副会長・宮本桂子さん

**1 月 例 会 報 告**

1月例会報告

中野義彦・畠平剛志

日時：1月19日 18：30～20：35

会場：サンホーム 6階

出席者：メン 伊藤圭介、岩坂正雄、大谷美佐子、尾北 昇、  
加藤寿枝、佐古至弘、正野忠之、新本英二、  
杉村 徹、中野義彦、畠平剛志、藤井敬子、  
丸尾欽造、宮本桂子、望月 強、横田恵子、  
メネット 伊藤玲子、大藪暢子、新本力子、丸尾初子  
計 20名

平成23年最初の例会が大谷さんの元気な司会により開催されました。横田会長は、ご挨拶の中で「西日本区よりの東日本大震災復興支援献金」、セントポール幼稚園に水を届けるプロジェクトおよびクラブが開催する「チャリティコンサート」(3/20 サンホーム6Fにて実施)などへの協力要請を熱く述べられました。

正野次期阪和部長からは、先日開催された西日本区次期役員研修会の報告がなされ、事業主査が決定したことなど部内各クラブのご協力の賜物と感謝を表明され、次期へ向かっての準備が整いつつあることを報告された。

続いて次期役員選挙が行われた。投票に先立って、大谷役員選考委員長より、選考委員2名が次期役員として被推薦者となっていることから、丸尾副委員長に選挙管理が委ねられ承認された。丸尾副委員長は、役員選挙についての前回までの流れ、注意点を説明の上、会員数21名、投票者16名、委任状提出者4名、はクラブ会則に定める定足数を満たしていることを告げ、投票の結果、次の各氏が次期役員として信任された。

**会 長** 宮本 桂子  
**副会長** 畠平 剛志  
**書 記** 田中 惟介  
**書 記** 大谷美佐子  
**会 計** 中野 義彦  
**会 計** 藤井 敬子



写真は、次期役員に選ばれた左から藤井会計、中野会計、宮本会長、畠平副会長、大谷書記の皆さん

**各事業委員会から中間活動報告**

今期も前半期を終え各事業委員長の報告と残り後半期に向けての指針が各事業委員長より説明された。

Yサ・ユース (田中さん体調不良につき) 横田会長より東日本大震災復興支援活動の展開、チャリティラン支援、クリスマス会を実施。車椅子登山を計画中なごみが6年目を迎える西日本区より、国際大会がノルウェーで実施、ユース募集人員9

名、献金を1口1000円以上でお願いしたい。なごみはメネットさんにご苦勞を願っていますが、今後ともよろしくお願ひします。

地域奉仕・環境事業：佐古至弘

色々なプログラムを皆様のおかげで行われた、後半も3月車椅子清掃、4月かららく登山、5月ふれあい祭り三つの大きなプログラムがありますがご協力をお願いします。

EMC事業：望月 強

EMCフォーラムに参加。八木さんの出席も2回で止まっていてなかなか難しい。現状では、会員増は思うようにいかないの、若い力を貸していただき、クラブの活性化につなげ、会員増につなげたい。じゃがいも販売の報告。

ファンド事業：新本英二

初期においては使用済み切手整理等、色々あったが現在していないので、新しく考える時期に来ている。じゃがいも販売利益をファンドに使っている。どの程度ファンドを使っていくのか課題。交流事業：岩坂正雄

海外3クラブとIBC締結。カリフォルニアのサドルバックは途絶えている。済州クラブは、30周年に訪問し、大震災に対する10万円献金のお礼状を「たこ焼きパーティ報告」と同時に送った。ロシア/オゼルスクラブとIBC締結、ロビー展に作品参加を得た。国内BBCが締結出来ていないのが次年度に是非お願ひしたい。

広報：伊藤圭介

リーフレットは配布したが会員増につながっていない。海外には70メール程送っているが、ロビー展に出展依頼がある。写真交流は好評のようである。

メネット事業：伊藤玲子

なごみは2006年3月より始め6年たっています。今期、震災支援として小物『4種類』を作り、11月～1月9日迄販売し8万円程の売り上げがあり、予想以上でした。感謝しております。支援のために新たなアイデアを考えていきたい。プリン：丸尾欽造

現在のプリント数は110枚(各号) 報告、予告、提言やオピニオン、研鑽資料などをバランスよく掲載するのが目標。各事業委員会からの積極的な記事を期待したい。正確とタイムリーはのち。余裕のある紙面構成を求める意見があった。



横田会長から尾北東Y館長にクリスマス献金が贈呈されました

また、今月の例会では国際大会ユースコンボケーションに送り出すユース派遣のための献金要請があり、会員から合計17000円の献金が寄せられました。

以上

## 第37期1月役員会 議事録

副会長 宮本桂子

日時 2012年1月26日(木)19:00~21:00

場所 東YMCA

出席者 横田憲子、宮本桂子、望月 強、藤井敬子  
田中惟介、中野義彦、佐古至弘、正野忠之  
畠平剛志

2月例会 2月16日(木)18:30~20:30 サンホーム  
司会・尾北君、聖句朗読・新本君、食事手配・正野  
君、食前感謝・新本君、ニコニコ・藤井君&メネッ  
ト、受付・田中君&藤井君

3月号プリテン原稿

2月例会報告・丸尾君、2月例会ニコニコテープ起  
こし・正野君、役員会報告・宮本君、Yニュース・  
鈴木えみさん、サンホームニュース・尾北君、巻頭  
言・望月 君、原稿締め切り・2月25日

### 《審議事項》

- 2月例会 TOFに関して  
ゲストスピーカーは 東YMCAリーダー様。「東日本  
大震災の11月たこばボランティア報告」をお願いする。
- 3月例会に関して  
大島さんにゲストスピーカーとして現在の韓国事情(仮  
題)をお願いする。大島さんには杉村君が連  
絡を取る。
- チャリティーコンサートに関して  
平成24年3月20日(祝)16:00~17:40 場所・  
大阪東YMCA 75名くらいの参加を期待したい。
- 西日本区東日本大震災献金の件  
予備費から1万円送金する。
- 阪和部献金要請の件 継続審議とする。
- らくらく車いす登山の件  
担当のテーマ「晴れる」  
リッツカールトンの方にリッツカールトンカラー  
を出して欲しいとの要望を出す。  
2,3,4月にサンホームとの打ち合わせを行う。  
従来どおりの形でやる予定。  
4月第4日曜日に行く。(以上担当者より)
- 車いす清掃の件  
24年3月20日(祝)1:30~2:30  
チャリティーコンサートと重なるので、担当者がサンホ  
ームと日にち変更の交渉に当たる。
- 3月3日感謝会卒Yリーダーのお祝いの件  
今年は6名が卒業。卒Yに1人2千円のお祝いを渡す。  
品物は、正野が買ってくる。
- クラブ中間決算報告と検討(会計予測は赤字見込み)  
会計より、詳しい報告がなされた。

### 《予定・報告事項》

- 2月8日 なかのしまクラブ15周年記念例会 土佐堀  
YMCA
- 2月19日 大阪西クラブ35周年記念例会 クライト  
ンホテル
- 4月1日 大阪長野クラブ35周年記念例会
- 4月15日 高槻クラブ30周年記念例会 たかつき京  
都ホテル
- 4月22日 京都パレスクラブ40周年記念例会
- 2月4日 河内クラブ研修会 13:00~「ワイズと  
は？」中央会館
- 2月5日 ふれあいサロン・独居老人を招待
- 2月18日 阪和部会評議会(参加者 横田・宮本)
- 2月25日 京都プリンスクラブ グランドプリ  
ンスホテル京都

## 阪和部新年合同クラブ例会 報告

報告:伊藤圭介

龍が1月9日、南YMCAに舞い降り暫くして昇龍していった。思  
いがけない!龍が実在しているとは!と思わせるくらい立派な  
出来合いでした。泉北クラブの佐々木 貞子さん指導の下で作  
られた龍です。縁起物で正月の初詣などで神社やお寺で頂くの  
ですが今年は”本物”に御利益を頂くいい年になる予感が会場  
に参加されている皆さんに溢れてに違いありません。

行事としては:松本 三枝子阪和部長の開会挨拶に始まり、  
いつもの様にな”芝居”ではなくすんなりとしたお正月らしい  
雰囲気の新春Big Show”が各クラブ提供で特色あるアイディ  
アで楽しみました。皆さんはお気づきと思いますが、泉北クラ  
ブの中井 基子メネットのピアノ演奏が食事中にBGMとしてあ  
りポピュラーナクラシックで優雅な一時を楽しみました。い  
つかは中井さんの演奏をゆっくりと聴きたいですね。次期阪和  
部長の正野 忠之メンの閉会挨拶で2時間半に亘る楽しい例会  
が終わりました。山田理学実行委員長、泉北クラブの皆さん、あ  
りがとうございました。90名の参加者でした。

**感想:**バランス感覚のとれた”軽量”プログラムで心地よい余  
韻のある新年にふさわしい会でした。特に辰年に因んで龍の登  
場は歴史に残るでしょう。

当日の河内クラブの参加者:横田 憲子会長、大谷 美佐子、  
佐古 至弘、畠平剛志、新本夫妻、望月夫妻、丸尾夫妻、伊藤  
夫妻、初田 真佐子メネット、大藪 暢子メネット 以上14名。



阪和部会に出席した河内クラブのみなさん、あれ、誰かいないぞ



ワイズメンのあり方を いま一度考えて  
燃料充填完了 いざ打ち上げ秒読みへ  
**正野 忠之君 大いに語る**  
(次期部長・次々期Yサ・ユース事業主任)

### 決意新たに向かう阪和部を思う

**去**る1月8日・9日、西日本区次期役員研修会が新大阪で開催され、次期の阪和部長として受講してきました。昨年、LD委員としてその場にいましたので、雰囲気はつかんでいましたが、次期部長の立場は重く、研修会を終えて阪和部新年合同例会に出席した頃は、心身ともにクタクタでした。自分なりに真剣に受講したつもりです。新たな学びもあり、有意義な2日間だったと思います。この研修を活かして、3月に行われます次期会長・主査研修会に臨みます。そして、7月から1年間の活動へという流れです。

**阪**和部長という役職は、立候補者がいない限り、輪番制でクラブから出すことになっていますが、みなさんは何年でその順番がまわってくると思えますか？ 正解は6年です。阪和部は9クラブありますが、輪番で部長を出しているのは6クラブだということです。私は田中メンが阪和部長をされた後の遠藤部長期から、事業主査、書記などで5期続けて部に関わってきました。つまり、その間に一巡したということになります。この現実、阪和部が今のままでいますと、もっと深刻になっていくように思います。



**私**は部長主題に「元気に。みんなで。 - 10年後の阪和部へ。つながる。」を掲げます。阪和部長を仰せつかってから様々な方向で考えてきましたが、4年前の6月に164名だった部のメンバー数が、昨年12月末で149名となっている状況を踏まえ、「ワイズ活動に参加している人も休んでいる人も、みんなで阪和部を支え、10年後へつながる1年にしましょう」という思いを主題に託すことにしました。

阪和部という枠から見まして、他クラブに比べ大阪河内クラブはバランスも良く、元気なクラブだと思います。しかしながら、このままで良いはずはありません。田中メンがブリテンに展開された「河内クラブの近未来像」を、私は阪和部として訴えていきたいと思っています。ただ単にメンバーを増やすことを口癖のように言っただけでは、阪和部の近未来像は見えてこない。私はそう思います。次期役員研修会を受講しまして、決意を新たに

しました。

### ユースリーダー支援への思い

**私**が堺YMCAでユースリーダーをしていたことは、ご承知のことかと思えます。いつも言うのですが、当時と今とでは、学生を取り巻く環境が違います。今の時代、学生を取り巻く環境は多様多彩で多忙。ボランティアで子供と接していくリーダーを志すだけですがいいなと思います。そんな彼女たちのことを今回書かせていただくのですが、私自身、河内クラブに入ってからすぐ東YMCAのリーダーと接点できた訳ではありませんでした。芳澤メンが会長のときに、リーダーと接点を増やそうという方針を出したことで、その時期に私がYサ・ユース事業主査という役割を与えられたことが、リーダーと付き合いができるきっかけでした。今4回生のリーダーが1回生の頃の話ですので、つい最近のことです。そして、自分自身の中にリーダー支援という目標が明確に見え始めたのが、一昨年の10月に奈良で開催された全国YMCAリーダー研修会(全リー研)でした。

**全**リー研が開催されたのはYサ・ユース事業主査2期目のときです。1期目、各地のリーダー会に顔を出し、YYひな祭りと呼ばれて、ワイズとリーダーがともに集う場を設けたりもしましたが、見えているものはおぼろげでした。何か物足りないまま過ぎようとしていた中、奈良YMCAの三枝さん(連絡主事)から、奈良で全リー研が開催されるので支援してほしいという要請があり、振り返れば、それが私とリーダー支援を結ぶ出発点だったように思います。そして、全リー研に関わりたいという思いが、河内クラブのみなさんの許しを得て2期連続でYサ・ユース事業主査をすることにより達成することができました。前段が長くなりましたが、全リー研に出席することにより肌で感じたユースリーダーの熱い思いが、今ある私の活動の源になっていることは間違いありません。あのとき、野外で行われた終了式で青空に向かってリーダーたちが口々に叫んだ、「YMCA大好き！」という言葉が、今も私を突き動かしています。

**東**YMCAのユースリーダーたちとも、その頃から接点が増えたように思います。今回、夏に続いて被災地訪問を考えていると知ったとき、改めて彼女たちのすごさを感じました。自費であっても被災地を訪ね、何らかの支援をしたい・・・思いに迷いがありません。行けないリーダーも資金作りという形で参加します。大学祭やスーパーで開催されるフリーマーケットに出店し、大きな声で支援を訴えていました。私たちワイズメンズクラブはメネット事業を活用して資金提供をしましたが、それがなくても、リーダーたちはやっつけに違いありません。もちろん、鈴木えみさんという立派なスタッフのフォローがあつてのことですが、迷いない心が訪問先のみなさんに伝わり、「たこ焼きパーティー」は

大きな成果を残しました。仙台に向けて大阪を発つとき、バス乗り場で、私はリーダーたちの熱気に圧倒されました。残念ながら一緒に行動はできませんでしたが、思いは託せたと思います。ワイズメンの心は伝えられたはずで

**目**頭に申し上げた通り、今の時代にボランティアリーダーをすること自体、貴重なことです。日々の活動に時間を割かれながらも、なおかつ被災地に目を向ける姿は、私たちがYMCAを通じて支援するに値するものだと思います。まさに「Look World」です。彼ら彼女たちが得たものは、いつの日か社会に還元されるはずで

## サンホームニュース

今年は厳しい冬になりました。サンホームではインフルエンザやノロウイルスなどの感染症から入所者を守るため、衛生管理を再度見直し、手洗いの徹底、消毒などに努めております。よろしくご協力ください。

### 特養新年会

1月15日(日)に1階フロアで入居者とスタッフによる仮装行列がありました。入居者とスタッフの仮装行列は、「白い巨塔」をもじった財前教授の医師の大回診シーンなど、笑い拍手で大盛り上がりでした。入居者とご家族の皆さんとスタッフも一緒になって新年を楽しみました。



### クリスマス献金プログラム

2月5日(日)「ふれあいサロン」

地域の高齢者の方々にお集まりいただき、食事やレクリエーションで楽しい一時を過ごしていただきます



## ユースの育成活動はワイズメンの誇りです

### 「2012 国際ユースコンボケーション」

ノルウェー・スタヴァンゲルに  
ユースを派遣しよう

と き : 2012年7月29日(日)~8月7日(火)

と ころ : ノルウェー・スタヴァンゲル

Solborg Folk School (高校)

募集人員 : 9名 (先着順。応募多数の場合途中で締め切る場合があります)

参加資格 : 概ね15歳から29歳までの青年で、クラブ会長の推薦が必要

参加費 : 約24万円 (登録・交通・宿泊・食費、現時点での予想費用です)

西日本区から参加費補助が出ますので、参加者の負担額は軽減します。コメント、ユースリーダーなど希望者は横田会長まで申込手続きをしてください。

応募締め切り日 : 4月15日 (西日本区・Yサ・ユース事業主任まで)

## 〈温故知新〉 ⑤

### 東大阪地域におけるYMCA活動の歩み

#### 東大阪YMCA 発展計画の立案（続編）

1978年2月、東大阪活動委員会において東大阪YMCAの事業方針を4項目において定められたことは前号で述べたが、その(4)で「将来構想をたてるための3ヶ年計画に着手する」と、あった。そのための人的体制を次の通り定めた。

主 幹：川村勇二（発展計画プロジェクト総括）

担当主事：瀬川健三（活動プログラム総括）

スタッフ：川崎 豊（活動プログラム担当）

々：法本道子（事務渉外担当）

々：秋吉久美子（事務）担当）

協 力：仙波 漸

また、同年6月14日の東大阪活動委員会（委員長・鳥井 清）において、「東大阪YMCA発展計画立案の手順」を決定、3ヶ年計画に着手した。そして同年7月18日開催の活動委員会で、「東大阪YMCAの発展を考える集い」を開催することを決め、同年9月10日午後1時30分から東大阪市立労働会館で開催、東大阪活動委員会、南YMCA運営委員会、河内ワイズメンズクラブ、リーダー、父兄、維持会員、職員等68名が参加、樟蔭女子大学田中千鶴子先生の「幼少年期における体育野外活動の意義」と題する講演のあと、東大阪YMCAに対する将来の夢を語り合ったのである。

同年、10月3日の活動委員会で、「東大阪発展計画研究委員会」を組織、委員長・伊藤圭介、委員に白石定一、望月 強、川村勇二、瀬川健三を決定し、具体的計画に着手するとともに、計画推進にあたり、市当局の理解と協力を求めるため、10月11日、発展計画委員と総主事、館長、担当主事が伏見市長を訪問、市長より理解と激励を受けた。

この年の5月28日、「東大阪市民ふれあいまつり」が実行されるにあたり、YMCAは実行委員会に参画して協力、リーダー、ワイズメン、会員ら100名が参加した。

また、12月3日には東大阪市民会館で恒例の市民クリスマスを開催し、地域の子供会や福祉施設の子供たち、東YMCA会員父兄ら約1600名が参加した。この年東大阪の会員数は671名に達した。

#### スポーツ広場の誕生

これより先、将来構想づくりに併行して、スタッフサイドで土地入手の可能性について調査を進めていたが、当時の東大阪YMCA事務所北側の近鉄所有地を最有力候補地として折衝していたところ、昭和53年12月に至りYMCAの趣旨が相手側に受け入れられ、最終的に入手できる見通しがたち、財団法人大阪キリスト教青年会は、昭和54年2月18日購入を決定、同年2月26日、近鉄所有地2276㎡を購入する契約を結び、土地を入手した。現

在のサンホームの地である。

この土地は当分の間は「スポーツ広場」として使用することになり、早速、グラウンドとして使用できるよう整備され、周囲にフェンスを設置し、同年5月5日の「子供の日」にオープン、「東大阪わいわい祭」を催し、約300名の子供たちが参加して広場の誕生を喜んだ。

続いて同年8月26日にも「夏まつり」を開催、夜店やバザーも実施され、約2400名の人たちでにぎわった。

同年10月21日には約600名が参加して「ファミリー運動会」を開催した。

また、この年からスポーツ広場を活用したサッカー教室やサイクリングクラブ、婦人スポーツ教室（汗かきアワー）が開始された。この年、会員数は736名となった。

地域社会との密接なつながりを深めることをさらに強調するために、近鉄不動産よりグラウンドマンション子どもプールの運営委託を受けて7月～8月にわたり、地域の子どもたちやファミリー、幼稚園、学校、諸団体に開放して好評を博した。

この年、（昭和54年）の11月には、東大阪市姉妹都市協会設立に発起団体として参画し、YMCAの国際性を地域に活かす第一歩となった。

#### 発展計画 青少年センターの建設

・南YMCA30周年プロジェクトとしての

東大阪YMCA10周年事業・

発展計画委員会の作業は順調に進められ、同54年12月4日開催の臨時活動委員会に「東大阪YMCA発展計画試案(1)」が提出された。それによると、基本的な考え方として、1.YMCAの性格（地域における役割、機能）として「地域活動センター」、「健康教育センター」、「ファミリーセンター」とする。2.大阪YMCAにおける組織上の位置づけは、一単位YMCAとして自立を目指すのが、当面は南YMCAとの関係を維持する。3.施設については小規模の会館建設（100坪程度）とグラウンドの整備にとどめる。自前の施設を拠点として従来通り公共施設（市体育館など）を積極的に活用する。緑を確保し、「都市の中の安らぎの空間」というイメージをつくり出す。4.南YMCA30周年（昭和55年）および東大阪YMCA10周年（昭和56年）の記念プロジェクトとする。

次に事業活動としては、定例事業として従来からの体育教室、野外活動クラブに加えてグラウンドを中心とする各種スポーツ教室（バスケット、サッカー、バレー、テニス、剣道など）、スポーツクラブ、サイクリング活動、会館を中心とした保育事業（保育所、学童保育）、婦人文化教室など行う。体育、スポーツ、野外では約1000名の会員とする。特別事業としては、1.自閉症児、精神障がい児の集団または個人訓練指導、セラピールームの開設、2.子供会指導者など地域ボランティア養成講座、3.老人体育、4.移動体育指導、5.家庭教育講座など実施する。

（青少年センター建設についてさらに次号に続きます）



東日本大震災 復興支援金への協力を!

**東日本大震災 復興支援金をお願い**

西日本区理事 浅岡徹夫  
東日本大震災については、今年度西日本区の最も重要な課題の一つとして取り組んでおり、各部、各クラブで様々な活動が行われています。しかし、年初にお願いした「西日本区としての東日本復興支援献金」が残念ながら思うように集まっています。もちろん各地のYMCAを通じての献金や、直接被災地への献金その他様々な献金が行われていますが、西日本区としてまとまった形で直接被災者支援につながる効果的な献金を行うために、ワイズの皆さまが集められた浄財を西日本区宛にお送りいただきたいとお願いいたします。  
みなさま尊いご支援とご協力をお願い申し上げます。

西日本区献金目標 200万円

第二次募金期間 2012年 2月15日まで  
送金先「ワイズメンズクラブ西日本区事務所」

**震災復興**

**チャリティコンサート**

宮沢賢治の朗読をフランススターの調べにのせて 岩手・花巻の方言で紡ぐ『賢治の世界』

朗読 : すがわら てつお  
フランススター演奏 : いいだ むつみ  
演目 雨二モマケズ 花巻農学校精神歌  
賢治最後の手紙 永訣の朝 他

日時 平成24年3月20日(祝)  
16:00~17:40 (開場 15:30)

会場 東YMCA サンホーム 6階  
近鉄奈良線「八戸ノ里駅」下車  
北東へ徒歩10分

入場料 1500円  
収益はYMCAを通じて支援活動に活かされます。チケット販売 東YMCA  
Tel 06-6787-3733

主催 大阪河内ワイズメンズクラブ

**メネット会からの連絡 2件**

2月例会日の4時からメネット会を開催いたします。  
阪和部メネット食事会(3月3日)にご参加の方は2月例会日に伊藤玲子さんまでお申し込みください。

**大阪 の**

日時: 2月8日(水)18:30~20:30  
会場: 土佐堀YMCA 会費: 2000円  
卓話「本当の隣人となるために」池田勝一氏(盛岡YMCA宮古ボランティアセンター・センター長)  
「15周年記念例会」は、通常の2月例会(TOF例会)としました。東日本大震災のことを覚え、少しでも東北の方々に寄り添っていきいたいという思いからです。ボランティアとして現地活動されたお話を伺い、私たちの支援活動のあり方を考える。

**大阪 野**

日時: 4月1日(日)12:00~14:30  
会場: 河内長野市立市民交流センター(キックス)  
南海高野線・近鉄長野線「河内長野」駅下車徒歩20分  
Tel 0721-54-0001 登録費: 5000円  
式典、日本舞踊花柳流師範名取・花柳迪静先生、懇親食事・ミシュラン 懐石料理「喜一」特製弁当  
申込先: 白井春夫ワイズ 3月23日までFAXまたはEメール

**大阪**

日時: 4月15日(日) 14:30~18:30  
会場: たかつき京都ホテル 会費 10,000円  
記念講演: 林 覚乗 師 (南蔵院住職)  
高野山真言宗別格本山篠栗四国総本山。「出会う人に明るさを与える人間でありたい」を信条に、毎年各地で250回以上の講演を行っておられる。  
申込先: 森本栄三ワイズ 3月20日までFAX

**ス ス**

日時: 4月22日(日) 16:00~20:00  
会場: 京都オークラホテル 中京区河原町御池  
例会費: 10,000円  
40周年記念例会を中止し、東日本大震災復興支援に奉じた一年の体験・・・プラス1は奉仕の喜び、ワイズの友情の大切さを学ぶ。パワーアップした京都パレスのお披露目。  
お問い合わせ: 実行委員長・為国光俊ワイズまで

**大阪**

日時: 5月11日(金) 18:55~  
会場: Fusion (ヒュージョン)4 なんばパークス8F  
例会費: 8,000円  
記念講演 「夢」「希望」あふれる未来を  
浮島とも子 氏 劇団「夢」サーカス主宰  
前参議院議員、元文部科学大臣政務館

**大阪**

日時: 6月23日(土) 12:00~15:00  
会場: 堺リーガロイヤルホテル 会費: 8,000円  
記念講演: 「鉄について」(仮題)  
堺伝統工芸士 五代目「佐助」平川康弘氏

**今月の強調月間メッセージ**

2月 TOF・CS・EF

メンバー全てがTOF・CS・EF 資金のシステム、意義、活用方法を充分学習することにより、資金の効果的活用を計り、ワイズ活動を活性化しましょう。

戸所岩雄 地域奉仕・環境事業主任

会員数	21名
(特別メネット会員数)	1名
1月例会 会員出席者	16名
メイクアップ	1名
1月の出席率	81.0%
ゲスト・ピジター出席数	0名
メネット・コメット出席数	4名
例会出席者総数	20名
役員会出席者数	9名
1月延べ出席者	29名
1月ニコニコファンド	15,350円
同 今期累計	99,565円

**YYY - ムのこ**

日時 2012年3月3日(土)13:00~15:30

会場 大阪南YMCA 06-6779-8370

参加費 無料

(12:00からのメネット食事は¥2000)

タイトル 【仮題】

「東日本大震災被災地訪問報告会」

わたしたちは忘れない!!

各YMCAのユースリーダー報告会

参加者の情報交換タイム(お茶とケーキ)

チョット一息(コンサートタイム)

今後の活動について

主催者 ワイズメンズクラブ国際協会

阪和部

後援 阪和部メネット会

**2012 2 Feb. >> 3 Mar. スケジュール**

- 2月 4日(土) ・クラブ研修会 13:00~18:00  
大阪市立中央会館
- 2月 16日(木) ・クラブ第一例会 18:30~20:30
- 2月 18日(土) ・阪和部評議会
- 2月 23日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 2月 25日(土) ・サンホーム「なごみ」奉仕  
・チャリティショップ 15:00
- 3月 3日(土) ・東YMCA 運営委員会(予定)  
・阪和部「YYY フォーラム」  
13:00~15:30 南YMCA  
・阪和部メネット食事も 12:00~  
南YMCA 会費 2000円
- 3月 15日(木) ・クラブ第一例会 18:30~20:30
- 3月 20日(火・祝) ・震災復興チャリティ  
コンサート(サンホーム)  
16:00~17:40 入場料1500円
- 3月 22日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00
- 3月 24日(土) ・サンホーム「なごみ」奉仕  
16:00~19:00  
・震災支援チャリティショップ  
15:00~ サンホーム

**お年玉つき年賀はがき 当選番号**

4等お年玉切手シートをCS 資金へ 27・44

**Happy Birthday**

2月 7日 正野佐貴子さん (水瓶座)

2月 12日 畠平 剛志 君 (水瓶座)

2月 16日 大藪 芳教 君 (水瓶座)



2月 27日 丸尾 欽造 君 (魚座)

**第37期 2011/2012年 クラブ役員**

会長・横田 恵子	Yサ・ASF・田中 惟介
副会長・宮本 桂子	地域奉仕・佐古 至弘
直前会長・大谷 美佐子	EMC ・望月 強
書記・望月 強	ファンド・新本 英二
芳澤 伸之	交流・岩坂 正雄
会計・田中 惟介	広報・伊藤 圭介
藤井 敬子	メネット・伊藤 玲子
連絡主事・杉村 徹	会計監査・新本 英二

発行者：横田 恵子 編集者：丸尾 欽造  
HP : <http://kawachi-ys.org/>

**STAVANGER NORWAY 2012**  
**Y'smen 70<sup>th</sup> INTERNATIONAL CONVENTION**

**ユースコンボケーション参加者募集中!**

**WELCOME TO NORWAY!**  
IC 2-5 AUGUST 2012  
IYC 30 JULY - 5 AUGUST 2012